

都市再生プロジェクト(第四次決定)(抄)

平成14年7月2日
都市再生本部決定

Ⅲ. 地方中枢都市における先進的で個性ある都市づくり

地方ブロック経済の中心として、我が国の経済の大きな牽引役である地方中枢都市において、これまで蓄積された都市資産を活用した先進的で個性ある都市づくりの取組に着目し、その推進により都市の再生を図る。

1. 人と環境を重視した都心づくり ～札幌～

明治初期に開拓使により骨格が形成された札幌市の都心は、今日まで計画的に都市基盤の整備が進められてきた。これら前世紀までに築かれた基盤と世界有数な多雪寒冷の大都市という地域特性を活かし、次の世紀に引き継げる人と環境を中心に据えた都心づくりを推進する。

(1) 歩いて暮らせる「豊かで快適な都心」を創造するため、都心通過交通の大幅な抑制に取り組むとともに、都心3軸(札幌駅前通、大通、創成川通)を基軸とした地下歩行空間、親水空間、モール化などの整備・検討を推進する。

(2) 雪の冷熱エネルギーを活用した先駆的な地域熱供給システムの導入をはじめ、産学官が連携し、環境負荷の低い新たな「エネルギー有効利用都市」の実現を目指す。

2. 緑美しい都市の実現 ～仙台～

(略)

3. 水の都の再生 ～広島～

(略)

地方中枢都市における先進的で個性ある都市づくり 【 人と環境を重視した都心づくり ～札幌～ 】

○前世紀から引き継いだ都市基盤、多雪寒冷等の地域特性を活用

○次世紀に引き継げる人と環境を中心に据えた都心づくりを推進

(1) 歩いて暮らせる豊かで快適な都心の創造

(都心通過交通の大幅な抑制、都心3軸を基軸とした都心構造の再構築に向けた取り組み)

(2) 環境負荷の低い新たなエネルギー有効利用都市の構築

(雪の冷熱エネルギーを活用した地域熱供給の導入等)

